

## 「ヨセフの執拗さの理由。」 創世記44章12～16、32、34節

クリスチャンがしつかりとした信仰者として歩むために欠かせないことは認罪です。言い訳や正当化をするクリスチャンは、信仰者としては危ういものです。認罪が不徹底なので、自分の立場や状況を、失敗や罪の理由として挙げてしまうのです。弁解にはならないのですが。

そして、認罪が不徹底だと、救いも曖昧なものになって、罪や誘惑にも陥り易くなってしまいます。世慣れた人は、なあなあになって、人に寛容であり、寛大であることがあります。それは、自分も罪を犯しているから、他の人の罪を糾弾していたら自分の罪や悪事がばれたらまずくなるので責めないでおこう、という魂胆であって、本来の寛容とは異なります。

最近の情報社会では、情報や知識が大事にされますが、偽情報は極端に多くなっており、情報漏洩や情報を盗むことも起こっています。情報を利用し活用するには判断力が必要ですが、判断力の基本は人格です。この人格形成が、宗教不在の社会にあつて情報に左右されて間違つた判断をしようとするケースが頻発しています。信仰者は、言い訳をせず、情報や知識に左右されない人格を形成していく必要があります。

さて、エジプトの宰相となったヨセフのもとへ、兄たちが食料調達にきました。兄だとわかったヨセフは、「かつて彼らについて見た夢を思い出して」（創世記42・9）、「これらのことが神の計画と意図の内にある」とを悟ります。その心が、未だに荒れていて嘘を言い、乱暴をする者かどうか確認しようとしています。

私も世の中で経営者として40年ほど働いていますが、話をし、生活や家族のことまで聞いてみると、その人の性格や人柄が分かります。家族のことをないがしろにする人は信用おけません。自分の評価を上げようとして誤魔化したり、虚勢を言ったりする人もおります。きちんとした仕事をしていない人は、それが通ると思つていたりします。愚かなもの

ヨセフの兄は、「私たちは正直者です。」(11)と言いました。そこで、ヨセフは「末の弟を連れて来なさい。」(20)と要求します。すると、「我々は弟のことで罰を受けているのだ。あれが、憐れみを求めた時、その心の苦しみをしながら、聞き入れなかった。それで、我々はこんな苦しみにあつているのだ。」(21)と彼らは過去を悔います。「ヨセフは聞いていて、泣いた」(23・24)。そして、最も乱暴なシメオンを捕らえて、他の者を返しました。

安易な人は、詫びたから、悔い改めたから、もう済んだ、と捉えま

再び食料のなくなったので、エジプトに行かなければなりません。それは、ベニヤミンを連れていくことが条件です。ここで、ユダが「私自身があの子の保証人となります。私が責任を負います。もしも、お父さんのもとに連れ帰らず、あなたの前にあの子を立たせなかったら、私は一生あなたの前に罪ある者となります。」(43・9)と告げて旅立ちます。悔い改めの許しは、イエス様が私たちの身代わりに十字架に掛つたから成し得たことで、単に詫びたからではありません。代価が必要なのです。反省などで済むことではないのです。

ヨセフは銀の盃をベニヤミンの袋に隠し、それを後で暴いてベニヤミンを奴隷にすると伝えます。兄たちは途方に暮れますが、ユダだけは、「神がしもべどもの咎を暴かれたのです。」(44・16)と悔い改めます。他の兄弟は、無実を訴え、そんなことをしていない、というでしょう。しかし、ユダは、20年も前にしたヨセフへの行為の咎を思い出し、悔い改めたのでした。そして、今日の聖句が続きます。

ヨセフは、これらのことを「大いなる救いによって、あなたがたを生か延びさせるためだったので。」(45・5)と論じます。しかし、真に悔い改めをして救いを得たのは、ヨセフとユダだけだったでしょう。「ヨセフの兄弟たちは、自分たちの父が死んだのを見た時、『ヨセフは我々を恨んで、我々が犯した全ての悪に対して、仕返しをするかもしれない。』と言った。」(50・15)というように、恐れたのでした。「ヨセフは彼らのこの言葉を聞いて泣いた。」(12)。真に救われていない人は、潜在心理の中で罪責感から抜け出ることができずに、言葉を駆使して自分を守ろうとします。

救いとは、自分が死に値する罪人であることを認め、イエス・キリストが自分の身代わりに十字架に掛かって、罰を受けたことを信じるることによって得られるものです。単に、神の存在を信じることではありません。自分の努力や行いによるものではありません。「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、値無しに義と認められるからです。」(ローマ3・23・24)。

ヨセフは、人の罪の執拗さを知っているので、このように時間と手間を掛けて、兄たちの救いを図ったのです。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讃美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讃美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそキリストは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

創世記 44:12 彼は年長の者から調べ始めて、年下の者で終えた。すると、その杯はベニヤミンの袋から見つかった。

44:13 彼らは自分の衣を引き裂いた。そして、それぞれろばに荷を負わせ、町に引き返した。

44:14 ユダと兄弟たちがヨセフの家にやって来たとき、ヨセフはまだ、そこにいた。彼らはヨセフの前で顔を地に伏せた。

44:15 ヨセフは彼らに言った。「おまえたちの、このしわざは何だ。私のような者は占いをするということを知らなかったのか。」

44:16 ユダが答えた。「あなた様に何を申し上げられるでしょう。何の申し開きができるでしょう。何と申して弁解することができるでしょう。神がしもべどもの咎を暴かれたのです。今このとおり、私たちも、そして、その手に杯が見つかった者も、あなた様の奴隷となります。」

44:32 というのは、このしもべは父に、『もしも、あの子をお父さんのもとに連れ帰らなかったなら、私は一生あなたの前に罪ある者となります』と言って、あの子の保証人となっているからです。

44:33 ですから、どうか今、このしもべを、あの子の代わりに、あなた様の奴隷としてとどめ、あの子を兄弟たちと一緒に帰らせてください。

Gen 44:12 So he searched. He began with the oldest and left off with the youngest; and the cup was found in Benjamin's sack.

44:13 Then they tore their clothes, and each man loaded his donkey and returned to the city.

44:14 So Judah and his brothers came to Joseph's house, and he was still there; and they fell before him on the ground.

44:15 And Joseph said to them, "What deed is this you have done? Did you not know that such a man as I can certainly practice divination?"

44:16 Then Judah said, "What shall we say to my lord? What shall we speak? Or how shall we clear ourselves? God has found out the iniquity of your servants; here we are, my lord's slaves, both we and he also with whom the cup was found."

44:32 "For your servant became surety for the lad to my father, saying, 'If I do not bring him back to you, then I shall bear the blame before my father forever.'

44:33 "Now therefore, please let your servant remain instead of the lad as a slave to my lord, and let the lad go up with his brothers.